

たのはた

大漁祈願

7月31日の羅賀みなと祭り。船上で大漁唄い込みを舞う中学生

主な内容

- 特集 50年目の夏 2頁
～田野畑と早稲田大をつなぐ森～
- 友好深めた小学生交流事業 12頁
- 第49回田野畑村成人式 14頁



堀口副総長から感謝状を受ける上机村長

早稲田大学
堀口健治 副総長

50年の永きにわたる交流。森の会
は小田先生の思いを受けて、学生た
ちの自主的なサークルとして活動し
てきました。これまでの活動写真など
の記録を見て感動しています。受け
入れてくれる地元、趣旨を理解して
くれる農家などがあってこそこのこ
とです。森の会の活動を受け止めて
くれた村の関係者に心からお礼を言
いたいです。50年は大きな節目で
す。この活動は教育にも大きな意味
を持っています。今後さらに発展的
に拡大することを期待しています。



村と早稲田大の交流
50周年を祝う会
150人が集う

村と早稲田大学の交流50
周年を記念した「たのはた・
わせた交流50周年記念フェ
スティバル」は8月7日、
アズビエホールで開催され
ました。田野畑小（早川幸
男校長、児童189人）の
スクールバンドがオープニ
ングを飾った式典には、早
稲田大学関係者や村民、思
惟の森の会会員やそのOB
など約150人が出席。
主催者を代表して眞野芳
樹 思惟の森の会会長は「こ
れから社会に飛び出す学生
にとって、田野畑での経験
は人生に大きな役割を果た
しています」とあいさつ。
これまでの50年間の交流
に功績のあった3団体（村、
菅窪自治会、菅窪共有地組
合）5個人（畠山正一さん、
金澤哲夫さん、早野仙平さ
ん、故熊谷熊次郎さん、故

和山修一さん）に大学から
感謝状が贈られました。
早稲田大学の堀口健治副
総長は「森の会の活動を受
け止めてくれた村の関係者
に心からお礼を言います。
さらに発展拡大することを
期待しています」と祝辞。
上机莞治村長は「村は『交
流』を村政の柱に据えてい
ます。その道筋をつくって
くださった小田泰市先生や
思惟の森の会に感謝しま
す」と、村と早稲田大学の
きずなが今後もますます深
まることを願いました。
式典では、交流のきつか
けをつくった小田先生をし
のぶ手作り紙芝居を学生が
披露。最後は会場全体で早
稲田大学の校歌を歌い、今
後も続いていく村と早稲田
大学の交流を確認し合いま
した。



「思惟の森」造成と「青鹿寮」完成を喜ぶ思惟の森の会の会員たち（昭和46年）

特集

50年目の夏

～田野畑と早稲田大をつなぐ森～

「思惟の森」を知っていますか？
いつ誰がつくり、どこにあるのか。
どんな思いが込められているのか――。
早稲田大学の故・小田泰市先生。
小田先生が初めて村を訪れてから50年。
小田先生の思いは「思惟の森」、
そして「思惟の森の会」という形になり、
今も受け継がれています。

思惟の森の会会長

眞野芳樹 早稲田大学商
学術院教授

小田先生の意と村の皆さんの思い
がうまくかみ合って、50年という節
目の年を迎えることができました。
これから社会に飛び出していく若い
学生にとって、田野畑での経験が今
後の人生に大きな役割を果たしてい
ると思います。表に陰に支えてくだ
さった村の人々――。この支えがあ
ってこそ50年で、継続しているこ
とが重要な意味を持っています。
これまでの支援に感謝しています。
今後も、この交流が100年、200
年と続くことを祈念しています。



懐かしい写真を見ながら当時を振り返るOB



式典の最後は会場全体で早大校歌を熱唱

村と早稲田大をつなぐきつかけ

故・小田泰市先生

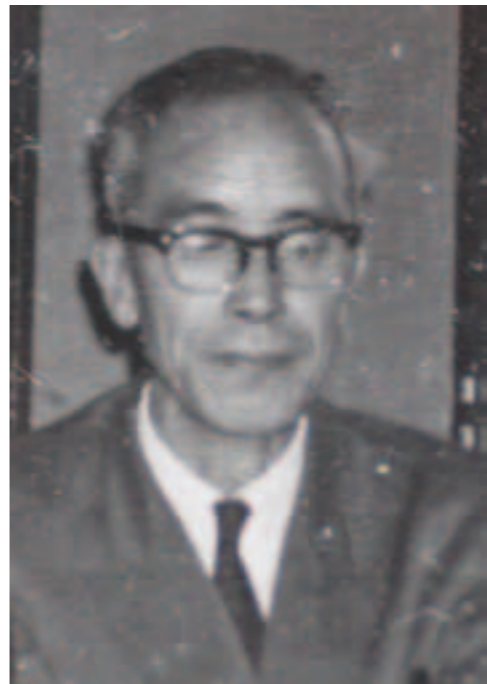
今から50年前の昭和35年
学生と共に初めての来村

早稲田大学商学部で教壇に立っていた小田泰市先生。人文地理学が専門だった小田先生は、大自然の中で地域の地理や気候、人々に実際に触れることで、机上では学べないことを知る重要性を学生たちに教えようと、ゼミ生13人と共に初めて村を訪れます。今から50

年前、昭和35年12月のことです。大芦地区の民家に1週間滞在しながら、奥深い山々や北山崎、海辺の集落など、豊かな自然と心をつなぐ素朴な人情にふれます。

村を襲ったフェーン火災 そこから始まる植林活動

小田先生や学生が初めて村を訪れた翌年の36年5月29日。田野畑村や普代村、岩泉町などの下閉伊



昭和46年ごろの小田先生
(写真提供: 畠山正一さん)

郡沿岸部で大きな火災が発生します。後に「三陸フェーン火災」と呼ばれるこの火災で村内の50戸が被災し、1人が死亡。山林25平方キが焼失しました。村内の被害額は、7000万円という大きな被害になりました。

そのことを知った小田先生は「自分たちにも何かできれば」と思い、その年の夏休みに19人の学生を連れて再び村を訪れます。火災により焼かれ、変わり果てた村の山々へ13日間にわたり植林し、森林の復興活動に取り組みました。翌年の夏は22日間52人、その後も人数や日数に増減はありましたが、小田先生と学生たちは村を訪れて植林活動を続けます。

「思惟の森の会」が発足し 活動拠点「青鹿寮」を建築

43年1月に「思惟の森の会」が発足。46年5月にはゼミナーハウス「青鹿寮」が完成。それから半世紀にわたり300人以上の学生が寝食を共にしながら植林・森づくり活動に取り組み、村の青年との共同合宿や地域の祭りへの参加など、地域との交流を深めてきました。小田先生や学生が続けてきた活動は、全国の森林ボランティアの先駆けとも言われています。平成9年5月26日、小田先生は89歳で永眠しました。しかし、その熱い思いは、今なお、思惟の森の会に受け継がれています。

紙芝居 小田泰市

作・絵 思惟の森の会

① これからお話しするのは、小田泰市先生という一人の大学の先生のお話です。
小田泰市先生は、わたしたち「思惟の森の会」の創設者。つまり、会をつくった人です。
小田先生は、早稲田大学の先生でした。日本の地理やそこに住む人々について研究し、それを大学生に教えていました。げたの研究をしたこともある、面白い先生です。



② 1960年。小田先生は早稲田大学で「ゼミ」という10人くらいのクラスで先生をしていました。そのゼミに、田野畑村から来た大学生がいました。
和山「田野畑村は美しい山や海があり、とてもきれいな村ですよ」
小田「それほど美しい村なら、ぜひ一度行ってみたいものだ」
和山「ぜひ、お越しください。村のみんなも歓迎ですよ」
小田「ならば、ゼミのみんなで一度田野畑村を訪れてみようではないか」



③ その年の冬に、小田先生とゼミの学生は田野畑村へとやってきました。そのころはリアス線（三陸鉄道）がまだ無かったので、みんなはバスに乗って宮古からはるばるやってきたそうです。
村人「ようこそお越しくださいました。ぜひ何日でもうちに泊まっていてください」
小田「ここはなんと良い村なのだろう。山は美しく村の人は優しい。この村が気に入ったぞ」
小田先生と大学生は、毎日楽しく過ごして東京に帰りました。
ところが……



⑦ **初** めて木を植えた夏休みから、毎年小田先生と学生は田野畑村にやってきました。山での作業だけでなく、夜、村の人とお話することをみんな楽しみにしていました。いろいろを囲んでお酒を飲みながら、みんなで話し合おう。学生もそして小田先生も、どんどん田野畑村が大好きになっていきました。



④ **次** の年の5月。田野畑村にはとても熱い風が吹いていました。ピューピュー……。そこにたまたま山火事が起こりました。小さな小さな山火事は風に吹かれて、あっという間に大きく燃え広がってしまったのです。この火事は「フェーン火災」と呼ばれるものでした。田野畑村の美しい山は、すべて焼けて丸裸になってしまいました。



⑧ **小** 田先生と学生が初めて田野畑村に来てから7年後、「思惟の森の会」ができました。小田先生は会長になりました。学生の勉強のために、当時の村長さんと菅窪共有地組合の方々が、思惟の森を思惟の森の会に貸してくれました。そして森の中に「青鹿寮」という建物を建てました。小田先生と学生は、寮に寝泊まりしながら山に木を植え、森を守る活動を50年もの間、続けてきました。



⑤ **田** 野畑村で起こった大火事の話を知った小田先生はとても驚き、そして悲しみました。あれほど美しかった山が燃えてしまったなんて……。何か、わたしたちができることはないだろうか……。小田先生とゼミの学生はたくさんたくさん考えました。小田「そうだ！火事で燃えてしまった山に、木を植えたらどうだろうか」学生「それは良い考えですね。わたしたちも協力しますよ」小田「ではもう一度、田野畑村へ行く」



⑨ **1** 997年、小田先生はお亡くなりになりました。ですが、わたしたち思惟の森の会は、今も続いています。そして小田先生が植え、大切に育てた思惟の森や山は今、大きな木になり緑豊かな山へとなりました。これからも、この美しい森を守るため、そして優しい村の方に会ったため、わたしたち思惟の森の会は田野畑村に来て活動を続けていくのです。(おしまい)



⑥ **火** 事が起こった年の夏休み。小田先生は去年よりも多くの学生を連れて、再び田野畑村にやってきました。みんな手に大きな鎌や斧など、山を整備する道具、そして木の苗を持っていました。A「よいしょ。よいしょ」B「穴を掘ったぞ。苗木を持ってきてくれ」小田先生も学生も一生懸命。1カ月もの間、みんなは村の方のお宅に泊めていただき、毎日毎日、木を植え続けました。

森の会OB
北海道で就農し
酪農で生きる

村上 洋史 さん
(37・北海道中標津町)



搾乳作業を終え学生時代を思い出す村上さん

わたしは第28期の幹事長を務めました。森の会には先輩につかまっていたのがきっかけで入りましたが、雰囲気や居心地が良かったのを今でも覚えています。横浜出身の自分には田舎と呼べる場所が無いので、自然豊かで温かい村の人に会える田野畑での合宿がとても楽しかったですね。だから続けられたと思います。

東京では山作業はなかなか経験することができません。でも、合宿での山作業は、カラマツの緑や澄んだ風、四季を感じながらみんなで声を掛け合って汗をかくことで、一体感も感じられました。共有地の方々と一緒に作業したこともありましたが、村の人と近づけたような気がしてとてもうれしかったです。

村の酪農家とふれあえたことがきっかけで、酪農に興味を持ちました。大学を卒業してから酪農研修を6年、自分の牧場を持って7年目になります。森の会や田野畑で経験し学んだ数々のことが、今の自分を支えてくれています。



山での作業の様子。植林したアカマツも大きくなり、最近の夏合宿は間伐が主な作業



女子学生ものこぎりやチェーンソーを使用

小田先生の意思を受け継ぐ者たち

「思惟の森の会」

早野村長の教育立村構想
思惟の森構想と考え一致

「厳しい環境の中で生きてきた田野畑の村人とふれあい、右も左も学生も教師も関係なく、同じ星の下で同じ釜の飯をつついて人生を語り合うことにこそ教育の原点がある」と考えた小田先生は、村に自然教育の場を作ることを決意。これが「思惟の森構想」です。そして昭和41年、当時の早野仙平村長と小田先生が出会います。早野村長はこのとき、地域の発展には教育が一番重要だと考え「教

育立村構想」を立ち上げていました。小田先生の「思惟の森構想」と早野村長の「教育立村構想」の考えが一致。村が土地や寮建設の材料を提供することで、43年「思惟の森の会」発足、46年「青鹿寮」建築へとつながります。そして発足から44年間、思惟の森の会の活動は続いています。

春夏秋冬の年3回村で合宿
山作業のほか地域交流も

思惟の森の会は、春夏秋冬の年3回、青鹿寮に泊まり込んで合宿を行います。春秋は約1週間、夏は2週間、会の目的である森づくり活動に取り組みます。作業する山は、寮からほど近い七滝山(菅窪共有地組合所有)とオマルペ山(金澤哲夫さん所有)。この二つの山に、主にアカマツとスギを植林し、育林作業を続けてきました。山の作業では、女子学生もまたやのこぎりはもちろん、チェーンソーも使います。そして寮では、かまどでご飯を炊き、風呂はまきで沸かします。もちろん、使うまきも自分たちで割ります。活動はすべて当番を決め、男女の区別なく行われています。山作業のほか村民や地域との交流を求めて、農家や酪農家の手伝いに掛け、地区の祭りがあれば会場設営からみこし担ぎ、イベントスタッフまでこなします。

昭和37年から
青鹿寮完成まで
学生を受入れ

島山 正一 さん
(80・菅窪)



当時の写真を見ながら思い出を話す島山さん

小田先生や学生との出会いは、確か昭和37年ころだったと思います。先生たちがたまたま家に雨宿りに立ち寄ったんです。その時は、お互いに名乗りませんでした。そのはがきには、あて名の代わりにわたしの写真が張ってありました。

そんなことがきっかけで、先生や学生を受け入れるようになりました。春夏秋冬、多いときだと16畳に40人くらい。寝る場所が無くて廊下にも寝ていましたね。長期休みになれば学生たちが来るので、自分の子どもたちはどこにも連れて行ってやれず…。何で受け入れたのか今となっても不思議です。

でも、小田先生は人のため、村のために損得関係なく行動する人でした。そんな小田先生を何となく「島山太助」の生き返りと錯覚したのかもしれない。

受け入れていた学生たちが、全国各地で活躍しています。自分が何かの役にたったかなと思うと、うれしいです。



毎食、かまどでご飯を炊きます

青鹿寮 (あおじしりょう)

思惟の森に昭和46年に建設されたセミナーハウス。思惟の森の会の学生たちは年3回(春夏秋冬)の合宿をここでやり、山作業や地域行事、農家・漁家などの手伝い(研宿)に出掛けます。

電気ガス水道はありませんが、ご飯はかまどで炊き、風呂はまきで沸かしています。また、暖房は食堂にあるまきストーブ1台。テレビやラジオ、新聞はありません。1階に食堂や道具部屋、2階には2段ベッド式の宿泊部屋、ミーティングルームなどがあります。

森の会OBの一人が「田野畑には壮大な山や海、満天の星空がある。自然に生かされた暮らしの営みがある。温かい地域や人のつながりがある。東京にいたら気付かない大切な何かがある」と話してくれました。だから田野畑村に足を運ぶのだと。小田先生の掲げた「思惟の森構想」が森の会で間違いなく受け継がれ、現在も続いている証拠にほかなりません。

早稲田大学にとどまらず
他大学生や社会人も参加

44期を迎えた思惟の森の会の活動(現在の会員数25人)。これまでに300人を超える学生たちが村を訪れ、活動してきました。その活動は早稲田大学にとどまらず、首都圏の他大学の学生や社会人も参加し、村の山林で森づくりを汗を流し、村民や地域との交流を深めています。そして近年では、早稲田大学の授業「農山村体験実習」が村で行われるなど、新たな交流も生まれています。

森の会の学生は、山での作業とわたしたちとの交流を求めて、今年の秋も村にやってきました。「思惟の森構想」を受け継ぎながら来年も再来年も――。





思惟の森宣言

国土の自然を愛し
大地に奉仕して
想い返して考える
思惟の森を造成し
心の故郷として
英知と愛と真実を探索し
国民的風土の象徴たらしめんことを期す

※「象徴たらしめんことを期す」は、「象徴としていくことを期す」の意

合宿の最終作業後はオマルペ山に登山し、頂上で校歌や応援歌を歌うことが伝統(今夏は降雨のため登山を断念。山すそから山頂に向かい声高らかに歌いました)

もっと深く村の方々とかわり
新しい交流の形を生み出していきたい

わたしが森の会に入ったのは1年生の春。「岩手で木を育ててみないか」と誘われたのがきっかけです。「海と山がすごく近い」というのが田野畑の第一印象。初めての作業では、1本の木を切るのに何十分もかかり、難しく大変だと実感しました。3年生になり幹事長を務める今、合宿のことや作業のこと、村の方々とのかかわりなど、これまでの先輩方の苦労やすこさを感じています。小田泰市先生が田野畑を初めて訪れてから50年目の今年。記念事業に出席いただいた村の方々や全国各地

から駆け付けたOBを見て、小田先生や森の会、田野畑への思い入れの深さをあらためて感じました。OBにとって森の会はまさしく青春そのもので、戻ってきたく場所なんだと思います。自分もきっとそうなるだろうし、みんながそう思える場所、会にしていけることがきっとわたしたち現役の使命ですね。これからも森の会は田野畑村にやってきます。村の方々ともっとも深くかわり、話しをしていく中から新しい交流の形を生み出していきたいと思っています。



早稲田大学「思惟の森の会」第44期幹事長(文化構想学部3年) 山口 和貴さん

故・小田泰市先生が初めて田野畑村を訪れてから50年。そして「思惟の森の会」が結成されて44回目の夏。今年も七滝山やオマルペ山には、チェーンソーやのこぎりなどで木を切る音が響き、学生たちが声高らかに歌う早稲田大学の校歌がこだまします。青鹿寮には、村の若者や地域の人が訪れ、酒を酌み交わしながら学生と熱く語り合います。森の会の学生たちは、村民との深い交流を求めています。地域の祭りなどにも積極的に参加し、より深くかわり合おうと一生懸命です。わたしたちも、そんな森の会の学生たちとふれあってみませんか。そこから、村の魅力を見たり、新たな地域づくりのきっかけが生まれるかもしれません。田野畑と早稲田大をつないでいる「森」。そして、青鹿寮に集う仲間たち。小田先生が残し、これまでOBたちが受け継いできた熱い思いは学生たちに引き継がれ、これからもずっと続いていきます。そう、思惟の森でずっと、ずっと。

参考文献：森の会宣言(小田泰市著) 特集「50年目の夏」終わり



手作りの写真立てには楽しかった思い出を



マレットゴルフで交流。深谷の子どもたちもナイスショット!



真剣な表情で写真立て作り



「敬礼!」気分は海上保管官。海の事故に気を付けます



島越で海水浴。田野畑の海を思いっきり楽しみました



初めてのウニ採りに悪戦苦闘。自分で採ったウニの味は最高でした

田野畑村 友好深めた小学生交流事業

ぼくらの暑い夏 フォトメモリー

埼玉県深谷市

最初は緊張気味だった子どもたちも、さまざまな体験を通して仲良くなり、5年生は来年の深谷市での再会を約束していました。
須田一那君(上栗東小5年)は「今まで食べたことがあるウニと全然違って、とても甘かったです。友達もいっぱいできました」と笑顔。熊谷美咲さん(田野畑小5年)は「みんなとやったマレットゴルフが楽しかったです。ウニ採りも初めて体験しました。来年は深谷市に行って友達に会いたいです」と瞳を輝かせていました。

友好都市・埼玉県深谷市と本村の小学生交流事業は、8月3日から6日までの3泊4日の日程で開催。深谷市の小学生30人と本村の小学生16人は、さまざまなことを体験しながら交流を深め、忘れられない夏の思い出づくりをしました。
子どもたちは、北山地区の自然大学校で寝食を共にしながらマレットゴルフや海水浴、ウニ採りを体験。畠山神社で、深谷市と田野畑村の交流のきっかけとなった「畠山重忠」について理解を深め、民俗資料館では「三閉伊一揆」について学びました。



畠山神社では田野畑と深谷のつながりを学びました



「バイバイ。来年、深谷で会おうねー」



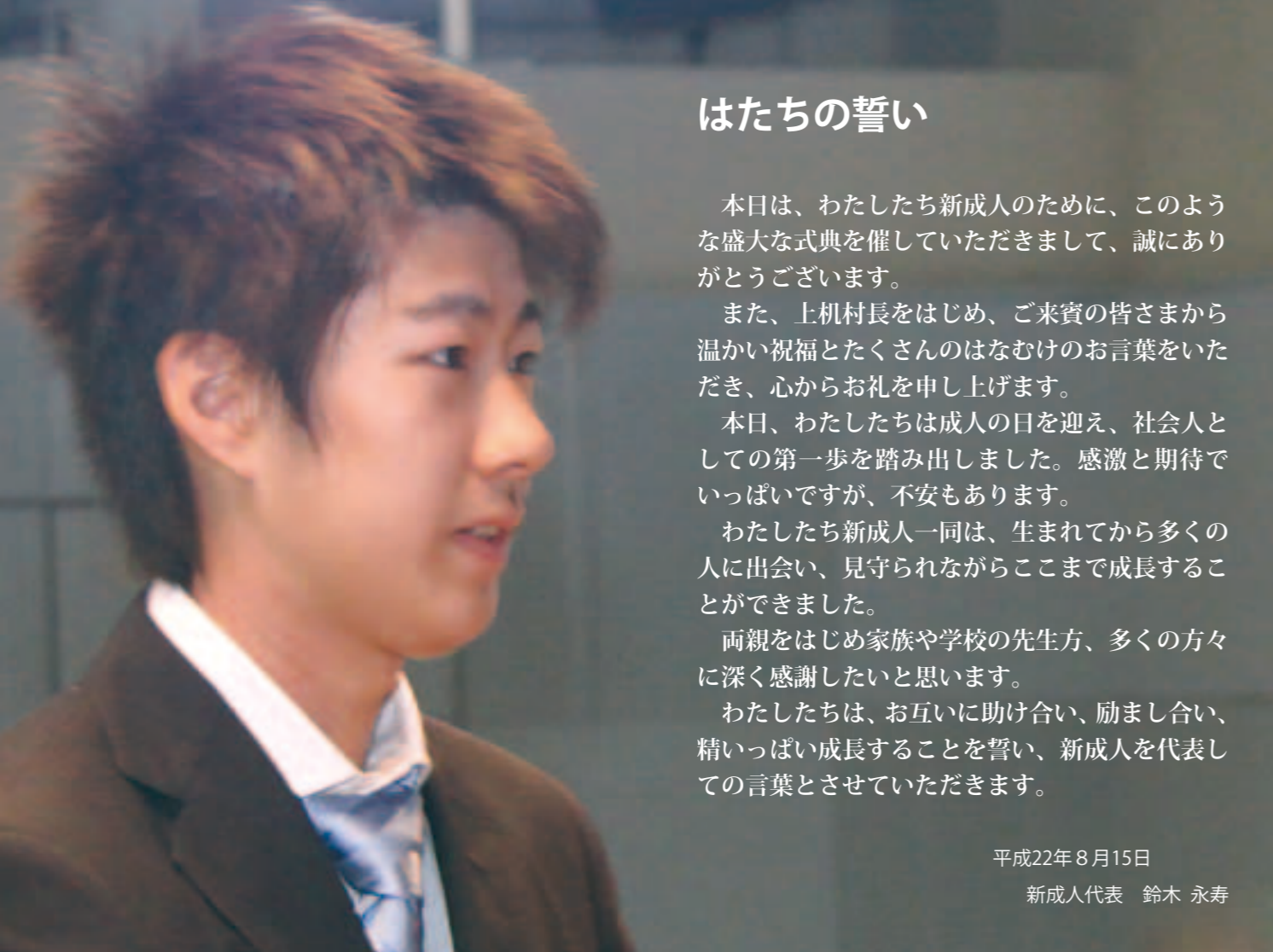
こんなにたくさん、友達できました。最後は最高の笑顔で「ハイッ、チーズ!」



それー、海へダイブ!



コンプ美人!? 深谷の子どもは拾った海藻にも興味津々



はたちの誓い

本日は、わたしたち新成人のために、このような盛大な式典を催していただきまして、誠にありがとうございます。

また、上机村長をはじめ、ご来賓の皆さまから温かい祝福とたくさんのはなむけのお言葉をいただき、心からお礼を申し上げます。

本日、わたしたちは成人の日を迎え、社会人としての第一歩を踏み出しました。感激と期待でいっぱいですが、不安もあります。

わたしたち新成人一同は、生まれてから多くの人に出会い、見守られながらここまで成長することができました。

両親をはじめ家族や学校の先生方、多くの方々に深く感謝したいと思います。

わたしたちは、お互いに助け合い、励まし合い、精いっぱい成長することを誓い、新成人を代表しての言葉とさせていただきます。

平成22年 8月15日

新成人代表 鈴木 永寿



第49回田野畑村成人式

41人が大人の仲間入り

成人の門出を祝い、式典に出席した新成人 27人で記念撮影

花巻温泉「ホテル志戸平」で接客をしています。田野畑に帰ってくるたび、自然や海があって落ち着きます。二十歳なので、大人の責任として投票に行きたいです。羽目を外しすぎないように、みんなと楽しくお酒を飲みたいです。



会社員 (羅賓・花巻市在住)
畠山 舞々さん



専門学生 (田野畑・宮城県在住)
佐藤 有望さん

成人したので、選挙の投票に行きたいです。もちろん友達とお酒も飲みたいです。いつか結婚して田野畑に戻ってきたいです。今は仙台の専門学校でスポーツと保育を学んでいます。保育士になる夢に向かって頑張ります。

栃木の大学で車の整備と開発を学んでいます。ずっと海の近くで育ったので、海が恋しくなることも…。今年、2級整備士の試験があるので合格したいです。将来は車の開発にかかわる仕事に就きたいので、夢に向かって頑張ります。



大学生 (島越・栃木県在住)
早野 信人さん



会社員 (大芦・盛岡市在住)
和山 優さん

繋温泉「ホテル大観」で働いています。今までは、10代という甘えがどこかにあったかもしれませんが、これからは何でも大人の責任を持ってやっていきたいです。久しぶりに会う友達も、みんな変わってなくて懐かしいですね。

新成人にインタビュー それぞれの はたちの誓い



第49回村成人式は8月15日、アズビイホールで開催されました。式には新成人41人(男24人、女17人)のうち27人が出席。新成人を代表して鈴木永寿さん(島越・東京都在住)は「お互いに助け合い、励まし合い、精いっぱい成長することを誓います」と力強くはたちの誓いを述べました。式典終了後は島之越漁港から「はたちの船」に乗船。久しぶりに会った友人と写真を撮り合い、近況報告や思い出話で盛り上がっていました。

納税の公平性を保つため

滞納処分を強化しています

平成21年度 村税の納税状況（現年課税分）
軽自動車税、法人村民税100%完納
国民健康保険税の納税率は県内第1位

平成21年度の村税（現年課税分）の納税率は、景気低迷が長引くなど厳しい納税環境の中にもかかわらず、村税[※]（国民健康保険税を除く）で98.5%となり、前年度を0.4%上回りました。特にも、軽自動車税は2年連続、法人村民税は8年ぶりに100%完納を達成。また、国民健康保険税の納税率は97.4%で、県内34市町村の中で第1位となりました。

滞納整理機構と連携し 税込確保と公平性図る

多くの皆さんは、厳しい経済状

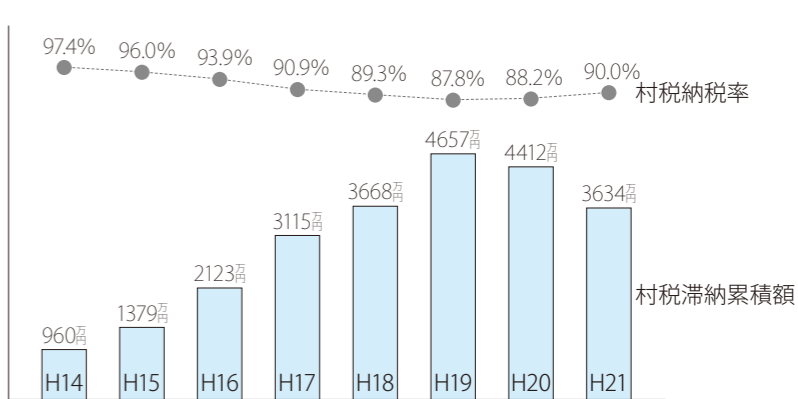
況の中でも納期限内に村税を納めています。しかし、納めることができる経済状況にもかかわらず税を優先して納めない人や、滞納が累積して高額になっている滞納者がいます。

村は、専門的に滞納整理を行う「岩手県地方税特別滞納整理機構」と連携し、納税に誠意のない滞納者や高額滞納者、長期間滞納者に対する滞納処分を強化しています。村と整理機構が共同で滞納整理を実施することで、税込の確保と納税の公平性を図っています。

やむを得ない理由には 分割や徴収猶予なども

病気や失業など、やむを得ない理由で一時的に税金を納められない人は、徴収猶予制度や分割によ

■村税の収納率と滞納累積額の推移



整理機構と連携した滞納処分の強化で滞納額が減少しています

期限までに納めないと 年利14.6%の延滞金

村は、納期限までに村税の納付がない場合、納期限から20日以内に督促状を郵送します。その場合、税金のほかに督促手数料として100円がかかります。督促状を発送した日から10日以上滞納が

■村税滞納処分(差し押さえ)実施状況

(平成21年4月～22年3月)

| 財産区分 | 件数 |
|---------|-----|
| 不動産 | 1件 |
| 自動車 | 1件 |
| 預貯金 | 7件 |
| 給料など | 11件 |
| 所得税還付金 | 13件 |
| 自動車税還付金 | 1件 |
| 売掛金など | 9件 |

※村税：村民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税

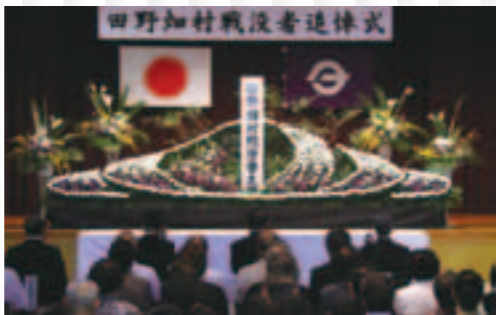
終戦から65年目の夏。英霊よ安らかに

平和を願い

戦没者を追悼

村戦没者追悼式は8月24日、アズビイホールで開催されました。参列した遺族や関係者など約130人は、先の大戦で戦地に赴き亡くなられた村の戦没者169人の御霊を追悼し、

献花を行いました。上机荒治村長は「戦没者の犠牲の重さを深く受け止め、先の大戦から学び取った貴重な教訓を深く心に刻みまします。戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に語り



式には遺族や関係者など130人が参列



追悼と平和への願いを込め献花する参列者

継ぎ、すべての村民が真に豊かな生活をおくることのできる郷土の建設に向け全力を尽くします」と式辞。田野畑村遺族会の佐々木治助会長は「日本、そして郷土田野畑村は、幾多の困難を乗り越えて復興と発展を遂げてきました。この平和と繁栄は、皆さまの尊い礎の元に築かれたことをわたくしたちは決して忘れてはなりません。在りし日の面影をしのびながら、永遠なる顕彰に努めます」と追悼の言葉を話しました。

10月1日から役場窓口で

パスポートの受け付けを始めます

村は、10月1日から海外旅行などに必要な一般旅券（パスポート）の申請受け付けと交付事務を行います。これは、県が行っている事務の権限移譲を受けるもので、村民の皆さんの利便性向上が目的です。申請方法などは次のとおりです。なお、9月30日まではこれまでどおり県パスポートセンターや沿岸広域振興局の旅券窓口で手続きをしてください。

◆受付時間：月～金曜日の午前9時～午後4時30分

◆申請・問い合わせ先：生活福祉課（☎34-2114 内線25）

| 有効期間 | 収入印紙 | 県収入証紙 | 計 |
|-----------|---------|--------|---------|
| 10年 | 14,000円 | 2,000円 | 16,000円 |
| 5年 | 9,000円 | | 11,000円 |
| 5年(12歳未満) | 4,000円 | | 6,000円 |

・収入印紙は各郵便局で購入できます
 ・県収入証紙は役場会計課で購入できます

- （土日、祝日、年末年始を除きます）
- ◆申請できる人：日本国籍があり村内に住民登録をしている人
- ◆申請書類など：
- ① 発給申請書（窓口にて備え付けてあります）
 - ② 戸籍抄（謄本）
 - ③ 本人写真1枚（縦45ミリ×横35ミリ）
 - ④ 本人確認書類（運転免許証など）
 - ⑤ すでに取得している人はパスポート
- ◆手数料：



日体大生の守りをかわしてシュートする田野畑小の児童

日体大生と一緒にバスケットで汗

日本体育大学の「社会体育研究会」は8月14日～19日までの6日間村を訪れ、毎年恒例の合宿(参加者27人)を行いました。17日にはアズビィ体育館で、村内の小中学生とバスケットボールで交流。社会体育研究会の山本重太主将(体育学部3年)は「田野畑の子どもたちはすごく元気で、わたしたちも一緒に楽しんでます」と笑顔。工藤丈斗君(田小3年)は「大学生のお兄さんやお姉さんとバスケットをやって楽しかったです」と額の汗をぬぐっていました。

特定定住者第1号に後藤さん

村が子育て支援と定住対策の一環として進める特定定住者への村営住宅貸付制度。その入居家族第1号が決まり、7月26日に村長室で入居許可証を交付しました。入居するのは後藤昌信さん(43)、妻・まき子さん(38)、長女・遙ちゃん(4)。後藤さんは名古屋市から一時、普代村に移っていましたが、この制度を知り村営住宅に入居を希望。昌信さんは「村内での仕事も決まり、ホッとしています。自然豊かで子育てにも適していると思います」と話していました。



上机村長から入居許可証の交付を受ける後藤さん家族

レクを楽しむ親子でふれあい

親子ふれあい広場は8月22日、アズビィホールで開催され、村内の児童館などに通う子どもと父母ら約50組100人が参加。体を動かしながら歌や手遊びなどを楽しみました。藤島淳一さん(35)＝沼袋＝は「子どもと一緒に楽しめ、とてもいい機会でした」と笑顔。講師を務めたのは県内の男性保育士で結成された「チーム・ファンタジスタ」の9人。高嶋純代表は「子どもと一緒に楽しむことが、親子のふれあいで一番大切なことです」と話していました。



親子一緒にリズム体操や手遊びを楽しみました



暑い中、園児と砂遊びでふれあう中田大喜君

田高生暑さに負けず職場体験

岩泉高校田野畑校(夏井敬雄校長、生徒16人)の2年生14人は、7月27日から29日までの3日間、村内と岩泉町7カ所の企業などでそれぞれ職場体験を行いました。若桐保育園では澤里直樹君が「あらためて仕事の大変さを実感しました」と暑い中、元気な子どもたちとふれあっていました。村診療所では将来看護師を目指している佐藤光さんが「診療所のスタッフの皆さんは村民に信頼されていて、大切な存在なんだと感じました」と仕事をこなしていました。

文：畠山史也、写真：佐藤祐樹(ともに田野畑校2年)



一球一打にベンチや観客からは歓声が上がりました

盆の野球場に快音と歓声響く

第43回議長杯争奪野球大会は8月15日、村営野球場で開かれ、6チームが熱戦を繰り広げました。真剣な中にも笑顔あふれる試合に、ベンチや観客席からは大きな声援が送られました。三連覇を果たした昭和61年生まれの同級生チーム「61'S」の鍬形文太さん(24)＝盛岡市在住・西和野出身＝は「同級生と集まり、勝ち負けよりも野球を楽しんでいます。年を取っても年1回、こうやって集まるのができればいいですね」と仲間たちと盛り上がっていました。

村の自然と生活を五感で体験

田野畑小(早川幸男校長、児童189人)の5年生29人は、7月26日から29日までの4日間「ふるさと体験学習」を行いました。児童たちは、ネイチャートレッキングや魚市場の見学、郷土料理体験、民泊などを通し、村の自然や生活について五感を使って体験しました。28日は貝殻や小石を使ったクラフト体験に挑戦。フォトスタンドを作った阿部七彩さんは「机浜で拾った貝殻とかを使って上手にできました。早く写真を飾りたいです」と笑顔で話していました。



体験村スタッフの指導を受けながら、思い思いの作品を仕上げました

お知らせ

平成23年7月24日
地上アナログ放送終了

アナログ放送終了まで約10カ月。不明な点や困っていることなどは問い合わせてください。早めの準備をしましょう。

◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111内線63)、またはデジサポ岩手(☎0570-07-0101)

| 人口と世帯 | 火災 |
|-----------------|---------------|
| 8月1日現在()は前月比 | (7月21日～8月20日) |
| 人口 3,984人 (-1) | 火災の【今月】 0件 |
| 男 1,946人 (-3) | 発件数【今年】 3件 |
| 女 2,038人 (+2) | 無火災の連続記録 |
| 世帯 1,445世帯 (+4) | (8月20日現在) 74日 |

村からのお知らせ

国勢調査に協力ください

10月1日を基準日に、国勢調査を実施します。この調査は5年に1度、国民すべてを対象に行う大規模な統計調査です。人口や世帯数、居住状況などを調査し、「議員定数」や「地方交付税算定」などの基礎数値として使用します。また、社会福祉や環境整備、山村振興、過疎対策、防災対策などの行政資料として利用します。

調査票は9月下旬、調査員が各家庭を巡回して配布します。「記入の仕方」をよく読み、10月1日現在の状況を漏れなく記入してください。記入した内容は法律で守られ、統計以外に使われることはありません。

調査票は、10月上旬に調査員が各家庭に伺い回収します。また、郵送で役場に提出することも可能です。不明な点は、総務課や調査員に尋ねてください。

◆問い合わせ先…総務課(☎34-2111 内線13)

子育て講演会を開催します

子どもの健康についての講演会を開催します。託児ルームも準備していますので、気軽に参加してください。

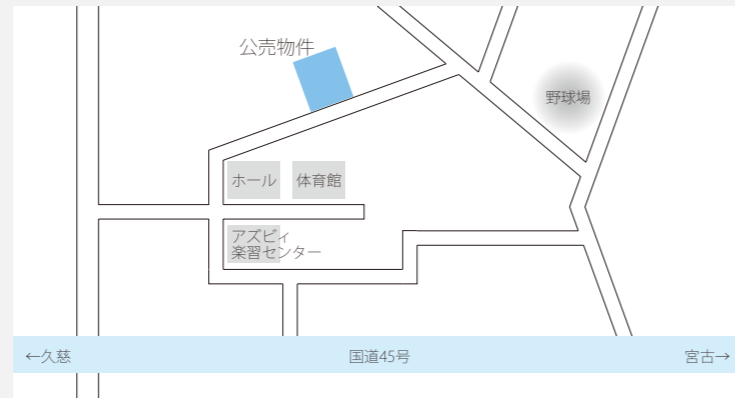
- ◆日時…9月22日(木) 午後3時～4時30分
- ◆場所…アズビオ学習センター
- ◆講師…豊島喜美子さん(豊島医院副院長・宮古市)
- ◆参加料…無料
- ◆問い合わせ先…村子育て支援センター(☎37-3577)

滞納者から差し押さえた財産を「公売」します

村は、滞納者から差し押さえた財産(不動産)を公売します。入札はどなたでも参加できますが、当日持参するものなどは、事前に担当課に問い合わせてください。

- ◆日時…9月14日(火) 午後1時開始
- ◆場所…役場第1会議室
- ◆公売物件…田野畑村和野318番 雑種地 2,259㎡ (見積最低価格:314万8,000円、公売保証金:32万円)

◆位置図…



◆その他…公売物件などの詳細は、税務課に備え付けてある「公売広報」を確認してください。公売を中止する場合もあります。公売実施の有無は税務課に問い合わせてください

「公売」とは…

村が国税徴収法などの法令に基づき、滞納者から差し押さえた財産を売却する手続きです。庁舎前の公告板などでお知らせした後、指定の公売会場で実施します。

参加者が入札書に金額などを記入して入札し、高値の落札者

に公売財産を売却します。売却代金は滞納者の税金に充てられます。

村は税の公平性を確保するため、県地方税特別滞納整理機構と連携しながら公売を含めた滞納処分を強化し、村税滞納の解消に努めています。

村税の納付は「口座振替」が安心・便利です

村税の納付には、便利で安全・確実な口座振替をお勧めします。一度手続きするだけで、納付のたびに金融機関などに出席する必要もなく、翌年度以降も口座振替が継続します。

- ◆手続き方法…預貯金通帳と届出印を持参のうえ、金融機関の窓口で申し込んでください
- ◆問い合わせ先…税務課(☎34-2112 内線33)

その他のお知らせ

いわて就職面接会を開催

働ふるさといわて定住財団では、県内就職を希望する学生などを対象に、就職面接会を開催します。

- ◆日時…9月14日(火) 午後1時～5時
- ◆場所…岩手産業文化センターアピオ(滝沢村滝沢字砂込389-20)
- ◆対象…平成23年3月卒業予定の大学院、大学、短大、高専、専門・専修学生、既卒者および一般求職者
- ◆参加企業…県内に事業所などを有する企業、約50社
- ◆内容…参加企業との個別面談、ジョブカフェいわてによる就職相談など
- ◆問い合わせ先…働ふるさといわて定住財団(☎019-653-8976)

自衛隊の学生を募集します

- ◆種目・受験資格…
 - ①防衛大学校学生…21歳未満の男女
 - ②防衛医科大学校学生…21歳未満の男女
 - ③看護学生…24歳未満の男女
 ※①～③いずれも高校卒業以上または卒業見込みの人
- ◆申込期限…10月1日(金)
- ◆試験日・場所…
 - ①11月6日(土)～7日(日)・盛岡市、一関市、北上市
 - ②10月30日(土)～31日(日)・盛岡市
 - ③10月23日(土)・盛岡市、奥州市、山田町
- ◆問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所(☎0193-63-3881)

辞職坂ウォーキングを開催

- ◆日時…9月12日(日) 午前10時～午後3時
- ◆集合場所…道の駅たのはた
- ◆参加料…大人500円、子ども300円
- ◆定員…40人
- ◆対象…小学生以上の健康な人(小学生は保護者同伴のこと)
- ◆持ち物…動きやすい服装・靴、水筒、帽子、雨具、昼食
- ◆申込期限…9月11日(土)
- ◆申し込み・問い合わせ先…体験村・たのはたネットワーク(☎37-1211、FAX33-3355)

フリーマーケット出店者募集

- 宮古地区広域行政組合では、フリーマーケットの出店者を募集しています。
- ◆出店資格…宮古広域管内に住所を有する人
- ◆募集店舗…30店(出店は無料) 売り場面積は2.5㎡×2.5㎡
- ◆開催日時…9月26日(日) 午前9時～正午 ※雨天中止
- ◆開催場所…宮古広域リサイクルセンター内敷地
- ◆申込期限…9月22日(木)
- ◆申し込み・問い合わせ先…宮古広域リサイクルセンター(☎0193-64-7111)

自殺予防相談窓口を設置

- ◆日時…9月9日(木) 午前10時～正午
- ◆会場…宮古地区合同庁舎
- ◆申し込み方法…前日までに電話で申し込んでください
- ◆申し込み・問い合わせ先…宮古保健所(☎0193-64-2218)

肝炎検査など無料で実施

- 宮古保健所では毎月1回、HIV抗体検査と肝炎検査、性器クラミジア抗体検査を行っています。検査日に合わせて骨髄バンクの登録も行っていますので利用してください。
- ◆実施日…9月28日(火)
- ◆受付時間…
 - 各種検査 午前9時～10時
 - 骨髄バンク 午前10時～11時
- ◆場所…宮古地区合同庁舎(宮古市五月町1-20)
- ◆料金…無料
- ◆予約方法…前日までに電話で予約してください。検査や相談は匿名で受けることができます
- ◆結果…検査を受けてから10日前後でお知らせします
- ◆申し込み・問い合わせ先…宮古保健所(☎0193-64-2218)

断酒会員が相談に応じます

- アルコールの問題で悩んでいる人やその家族を対象に、相談窓口を開設します。
- ◆日時…9月8日(水) 午前10時～11時30分
- ◆会場…岩泉町保健センター
- ◆相談員…盛岡中央断酒会員
- ◆問い合わせ先…宮古保健所(☎0193-64-2218)

9月の無料法律相談

- ◆期日…9月2日(木)、9日(木)、16日(木)、30日(木)
- ◆時間…午前10時～午後3時
- ◆場所…宮古市役所
- ◆申し込み…宮古市市民相談室(☎0193-62-2111)

広報クイズ

問題の答えをはがきに書いて、役場政策推進課（9月21日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

- Q1 村と早稲田大学の交流が50年を迎えました。50年前に初めて村を訪れ、交流のきっかけをつくった人物は？
A) 小田泰市さん
B) 大隈重信さん
- Q2 8月15日に開催された49回目の成人式。村内の新成人は何人？
A) 41人
B) 27人
- Q3 10月1日から役場窓口で申請受け付けと交付事務が始まるのは？
A) パスポート
B) 運転免許

■前号の正解■
Q1→A、Q2→B、Q3→A
■当選者(敬称略)■
牧原喜孝(大芦)、熊谷正初(猿山)、菅原正幸(菅窪)、熊谷タマ(花巻市)、中村志会之助(埼玉県)

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

1146万6,149円

(8月20日現在)
263件(村内73件、県内93件、県外97件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111 内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：9月5日(日)～9月30日(木)

| 月日 | 行事 | 場所 | 時間 | 問い合わせ先 |
|---------|-------------------------|------------|-------------|-------------------|
| 9月5日(日) | 教育長杯マレットゴルフ大会 | マレットゴルフ場 | 8:30～12:00 | 社会教育課 |
| 6日(月) | | 浜岩泉農業会館 | 9:30～11:00 | |
| | | 北山総合センター | 13:30～14:30 | |
| 7日(火) | 肺・大腸・前立腺がん検診 | 農村環境改善センター | 9:30～11:00 | 健康推進課 |
| 8日(水) | 特定検診、後期高齢者検診 | | | |
| 9日(木) | 肝炎ウイルス検診 | | | |
| 10日(金) | | 明戸さかなセンター | 13:00～14:30 | |
| 10日(金) | | 健診センター | | |
| 12日(日) | たのはた・辞職坂ウォーキング | 道の駅たのはた集合 | 10:00～15:00 | 体験村たのはた(☎37-1211) |
| 13日(月) | 定期健康相談 | 保健センター | 10:00～11:30 | 健康推進課 |
| 15日(水) | 乳児健診 | 健診センター | 13:00～15:30 | 健康推進課 |
| 25日(土) | 粗大ごみ収集日(沿岸地区) | | | 生活福祉課(内線21) |
| 26日(日) | 総合防災訓練 | 田野畑中前ほか | 8:00～11:30 | 総務課(内線12) |
| 30日(木) | 国保税4期納期限 | | | 税務課(内線33) |
| | 介護保険料4期・後期高齢者医療保険料3期納期限 | | | 生活福祉課(内線22・24) |

役場☎34-2111 / 総務学校教育課・社会教育課☎34-2226 / 診療所☎33-3101 / 健康推進課☎33-3102

おめでた おくやみ

- [平成22年7月届け出分]
(一部敬称略)
- 生まれた赤ちゃん
中村 穂香(ほのか)ちゃん 透・美鈴 明戸
畠山 倅歩(ゆきほ)ちゃん 泰成(たいせい)くん 裕晃・朋生 羅賀
- ご冥福をお祈りいたします
三浦 トミヨ(93) 島越
三浦 隆三(75) 島越
佐々木 重政(76) 明戸

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口にお申し出てください



畠山敬雄さん(65)＝菅窪＝は自宅のキュウリ畑で、3本のキュウリが重なってくっついた珍キュウリを収穫。「家で30年くらいキュウリを作っていると思うが初めて見ました」とビックリ。この珍キュウリ、食べずに産直に飾るそうです。

毎回、特集記事を楽しみにしています。これだけの内容を書くのには相当取材し、吟味し、限られた時間の中で広報紙として発表…。かなり苦労されていると感じます。広報紙は村の現状をよく知り、一人一人がどのように生きていけばよいか指針を与えていると思います。これからも楽しみにしています。
菅原正幸さん

菅原さん、お便りありがとうございます。真夜中の役場、1人っきりの編集作業中に読んだら、うれしくて泣きそうになりました。何か考えたり行動したりするきっかけになればいいと思います。まだまだ未熟ですが、これからも続けていくつもりです。感想など、またお待ちしておりますね。(広報)

はまなす号巡回カレンダー

期間：9月8日(水)～29日(水)

◆はまぎくコース(机・北山・羅賀方面)

| 月日 | 場所 | 時間 |
|---------|------------|-------------|
| 9月8日(水) | 机保育所 | 11:00～11:20 |
| | 北山地区総合センター | 11:30～11:50 |
| | 生活体験館 | 12:20～12:50 |
| | 平井賀郵便局付近 | 13:00～13:20 |
| 22日(水) | 机保育所 | 11:00～11:20 |
| | 北山地区総合センター | 11:30～11:50 |
| | 生活体験館 | 12:20～12:50 |
| | 平井賀郵便局付近 | 13:00～13:20 |

◆たんぼぼコース(島越・浜岩泉方面)

| 月日 | 場所 | 時間 |
|---------|---------|-------------|
| 9月8日(水) | 島越駅 | 9:20～9:40 |
| | 島越児童館 | 10:00～10:20 |
| 9日(木) | 望洋館付近 | 10:20～10:40 |
| | 佐藤進氏宅付近 | 10:50～11:10 |
| 22日(水) | 島越駅 | 9:20～9:40 |
| | 島越児童館 | 10:00～10:20 |
| 29日(水) | 望洋館付近 | 10:20～10:40 |
| | 佐藤進氏宅付近 | 10:50～11:10 |

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方方面)

| 月日 | 場所 | 時間 |
|----------|--------|-------------|
| 9月10日(金) | 沼袋保育所 | 10:50～11:10 |
| | 尾肝要公民館 | 11:20～11:40 |
| | 甲地公民館 | 12:00～12:30 |
| 24日(金) | 沼袋保育所 | 10:50～11:10 |
| | 尾肝要公民館 | 11:20～11:40 |
| | 甲地公民館 | 12:00～12:30 |

◆問い合わせ先…社会教育課(☎34-2226)

あんじゅう

宮部 みゆき 著



三島屋の行儀見習いのもとにやってくるお客様は、みんな胸の内に「不思議」をしまっている。「逃げ水」「藪から千本」「暗獣」「吼える仏」の4物語を収録。

ゆんでめて

畠中 恵 著



身体は弱い知恵はあふれる、若だんな史上最大の後悔。ズレてはいるけど頼りになる妖怪たちも、今度ばかりは助けられない…。「しゃばけ」シリーズ第9弾。

新着図書のご案内

小惑星探査機 はやぶさの大冒険

山根 一真 著



2010年6月13日。7年間の大宇宙航海を全うして地球に戻ってきた小惑星探査機「はやぶさ」。打ち上げから地球帰還までの試練に満ちた日々を語る。

みんなのひろば

はがき(表)の記入例です
0288407
田野畑村役場政策推進課 あり
田野畑村 田野畑 143-1
北山崎 太郎(○歳)
34-00000

- ◆投稿するときの注意…
- ①はがきの表には…住所、氏名、年齢、電話番号を書いてください。ペンネームや匿名での掲載も受け付けます。
 - ②はがきの裏には…クイズの答えとイラストや感想などを書いてください。
 - ③営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体を中傷するものは掲載できません。
 - ④感想など、長い文章の場合、一部添削させていただく場合があります。
- ◆あて先・問い合わせ先…
〒028-8407
田野畑村 田野畑 143-1
田野畑村役場政策推進課
(☎34-2111 内線64)

文芸

今月の歌

特攻兵舎に流行りし疥癬塗り薬
「スカポール」の名がふと想い出ぬ
半年に十人の人みまかれば
村の祭は中止となりぬ
ひとときの雨は止みたりみじか夜は
すでに薄明の枕辺静か
水害の無残を日毎報じつつ
日本列島梅雨暗く降る

九里 拓洋
工藤 香世
田子内 亜樹
岩見 久子

こだま短歌会
8月詠草から

★仕事は？

今年の4月から岩泉高校田野畑校で国語の講師をしています。素直な生徒が多く、進んで話しかけてきてくれたりします。生徒の成長が感じられたときにやりがいを感じます。

★休日は何をしていますか？

盛岡の実家に帰ります。趣味は温泉や岩盤浴に行くことです。最近のお気に入り「喜盛の湯」と「繋温泉」。今度は山形県の「銀山温泉」にも行ってみたいです。

★理想の男性のタイプは？

頼りがいがある話がおもしろい人かなあ。

★今後、挑戦したいことは？

まだやったことはないですが、沖縄でスキューバダイビングをやりたいです。

★最後に一言お願いします！

田野畑村は海もあって山もあって、自然豊かなところだと感じます。社会人1年目でまだまだ未熟ですが、皆さんよろしくお願ひします。

文：佐藤祐樹、写真：畠山史也(ともに田野畑校2年)



相澤 ^{のりえ} 典江さん (23) =菅窪=



わが家の
アイドル



大泉 ^{しょう} 翔くん (1歳4カ月)

父・清明さん、母・里奈さん=島越=

お母さんからのひとこと

4人きょうだいの中で一番のやきかんばん。自動車のハンドルが大好きで、握ると離しません。小さく産まれ心配したので、健康に育ってほしいですね。

編集ごぼれ話

田野畑校2年生の就業体験が広報係にも2人。何を体験させようかと悩んだ結果、実際に取材してもらうことにしました。緊張すると言いなながらも、積極的にコメントを聞いたり写真を撮る2人の姿は広報マンそのもの。佐藤祐樹君は「誰をどのタイミングで撮影するかが難しかった」、畠山史也君は「広報は人に見てもらおう物なので、分かりやすく書くのが難しかった」と感想を話してくれました。わたしも2人に教えることで、あらためて自分の仕事を見つめ直すことができました。2人が取材した記事は18頁と24頁に掲載していますのでご覧ください。▼村と早稲田大学の交流50周年には全国各地から思惟の森の会OBの姿。わたしも若いころ、青鹿寮に遊びに行っただけに泊まり込み、平日は仕事で土日は山作業をしていました。学生でもないのに卒会証書なる物をもらったなあ…。取材で久しぶりに山に入りましたが、懐かしさ以上に体力の衰えを感じてしまった暑い午後でした。
(政策推進課 佐々木和也)